

形成外科

1. 構成

診療部門 形成外科

a. 体制 …当該年度の特徴・スタッフ等

スタッフ：

鈴木 義久 部長

石川 奈美子 副部長

武田 孝輔 副部長

武田 紘司 医員

梶川 珠未 専攻医

月江 富男 非常勤

診療体制：

	月		火			水		木			金		土
午前	回診					回診					回診		
	一般 外来	特殊 外来： 第 1、3 週 血管腫 第 2、4 週 リンパ 浮腫	一 般 外 来	第 5 週 美 容	全身 麻酔 手術	一般外 来	局 所 麻 酔 手 術	一 般 外 来	局所 麻酔 手術	全身麻 酔手術	一般外来		一般 外来
午後	外来	局所麻 酔 手術	全身麻酔手術			第 2、4 週 美容外 来	局 所 麻 酔 手 術	全身麻酔手術			一般 外来	特殊 外来： 血管腫	
											検討会		

特徴：繊細な縫合と皮膚の操作技術により最小限の手術痕となるよう努力しています。

● 乳癌術後の組織欠損

乳腺外科医と協力し人工物（シリコンインプラント）や自家組織（自家脂肪組織移植、広背筋、腹直筋、遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁）による再建術を行っています。また、他院にて乳癌切除手術

を受けられた患者さんの 2 次再建手術も行っています。

- リンパ浮腫

術前にリンパ管の状態を診断し、保存的加療と並行して手術加療も行っています。リンパ管を細い静脈に吻合する手術（リンパ管細静脈吻合術）、血管柄付きリンパ節移植等をマイクロサージェリーの技術を用いて行っております。術中 ICG 蛍光観察用光源装置を備えた顕微鏡でリンパ管を造影し確認することで正確にリンパ管と細静脈を縫合しています。

- 顔面神経麻痺

静的再建や動的再建を行っています。また、兎眼により生じる角膜知覚障害に対し隔膜知覚再建も行っています。角膜知覚再建術を行っている数少ない施設の 1 つです。

- 外傷

- 手足の腱や神経断裂、軟部組織損傷、涙小管断裂、熱傷など幅広い疾患に対し対応しています。

- 顔面骨骨折

頬骨骨折、眼窩底骨折、鼻骨骨折、下顎骨骨折、Le Fort 骨折等複合型骨折など顔面外傷全般にわたる治療を行なっています。また、陳旧性顔面骨骨折に対する治療も行っております。

- 難治性潰瘍（糖尿病性下肢皮膚潰瘍、ASO による下肢皮膚潰瘍、褥瘡）

まず保存的治療を行います。治癒が困難な場合切断術を行っているが、持続陰圧療法（VAC）治療を併用し、なるべく組織を残す方向で手術を行っています。すべての治療に抵抗性の場合には、適応を検討した上で再生医療第 3 種である自己多血小板血漿（Platelet-Rich Plasma: PRP）による治療を行っています。

- 皮膚腫瘍良性腫瘍

必要に応じ拡大鏡（ダーモスコープ）による皮膚の検査を行い、手術もしくは炭酸ガスレーザーによる蒸散を行い傷跡が最小限になるような治療をしています。

- 悪性腫瘍

腫瘍生検し悪性と診断された場合にはガイドラインにのっとり治療を行なっています。腫瘍が大きく腫瘍切除による組織欠損範囲が広い場合には局所もしくは遊離皮弁による再建術を行っています。

- 瘢痕拘縮、ケロイド

まず保存的加療を行い、治療抵抗性であれば手術も検討し再発の可能性が高い症例には電子線照射も行います。

保存的加療にはステロイドのテープ貼布、ステロイド注射があります。

- 下肢静脈瘤

超音波エコーで静脈瘤の状態を検査した後大伏在静脈ストリッピング手術や高周波焼灼手術を行なっております。また、潰瘍や下腿の皮膚の色素沈着、浮腫を伴う重症の静脈機能不全に対し内視鏡下不全穿通枝結紮術を行なっています。また、細かい血管の浮き出しに対してはレーザー照射を行っています。皮膚の硬化やむくみ、潰瘍を生じた下肢静脈瘤に内視鏡を用いた筋膜下不全穿通枝切離術（SEPS）を行っている数少ない施設の 1 つです。病変のある皮膚に切開を加えず健常な皮膚から筋膜下層に内視鏡を挿入し潰瘍の原因となっている不全穿通枝（深部静脈と皮膚に近い部分

にある表在静脈を結ぶ細い静脈）を切離しますので新たな潰瘍の発生や創部の治癒遅延を避けることができます。

- 小児の日帰り全身麻酔手術を行っています。
- 乳児血管腫やスタージウエーバー症候群などの血管病変に対するロングパルス色素レーザー（V ビーム）照射を保険診療にて行っています。
- 先天性疾患の手術加療を行っています。
 - 唇顎口蓋裂
 - 眼瞼下垂症
 - 耳介変形：小耳症、折れ耳
 - 先天性耳漏孔
 - 四肢の疾患：多指症、合指症、多趾症、合趾症
- 加齢性眼瞼下垂症
 - 弛緩性眼瞼下垂症に対し挙筋前転術や余剰皮膚切除術を行なっています。
- 美容外来でアンチエイジング治療、ホクロやシミに対するレーザー治療や男性の髭を含む脱毛レーザー治療を行っています。

b. 診療実績 …臨床統計(手術件数、検査件数)・研究等

手術件数

形成外科 新患者数： 1534 名 / 形成外科 入院患者数： 2287 名

	入院	外来	計
全身麻酔での手技数	169	6	175
腰麻・伝達麻酔での手技数	5	1	6
局所麻酔・その他での手技数	120	635	755
入院または全身麻酔の手技数計`371			
外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他の手技数計`636			
合計係数`618			

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	27	1	8			2	38
先天異常	12		3				15
腫瘍	61		40	4		243	348
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	8		2			13	23
難治性潰瘍	27	1	22	1		2	53
炎症・変性疾患	26	3	16	1	1	16	63
美容（手術）							
その他	3		28			17	48
Extra レーザー治療	5		1			342	348

c. 研究実績

【学会】

- 1 武田孝輔、首藤可奈、武田紘司、石川奈美子、鈴木義久
胸骨正中切開後胸骨骨髓炎の1バリエーション
第64回日本形成外科学会総会学術集会 2021/4/15 （東京）
- 2 石川奈美子、首藤加奈、武田紘司、武田孝輔、鈴木義久
リンパ浮腫患者の手術と複合的理学療法の有用性についての考察
第64回日本形成外科学会総会学術集会 2021/4/15 （東京）
- 3 首藤加奈、石川奈美子、武田紘司、武田孝輔、鈴木義久
4K 3D ビデオ技術搭載の手術用顕微鏡システム ORBEYE のリンパ管細静脈吻合術での有用性
第64回日本形成外科学会総会学術集会 2021/4/15 （東京）
- 4 武田孝輔、首藤可奈、武田紘司、石川奈美子、鈴木義久
球脊髄性筋萎縮症患者の誤嚥性肺炎に合併した電撃性紫斑病の1例
第13回日本創傷外科学会総会 2021/7/15 （福岡）
- 5 武田孝輔、葛城遼平、首藤可奈、武田紘司、石川奈美子、鈴木義久
運動神経・筋温存薄層外側広筋弁による前頭蓋底再建の1例
第39回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 2021/11/11-12 （東京）
- 6 石川奈美子、首藤加奈、武田紘司、武田孝輔、鈴木義久
進行癌の下肢リンパ浮腫患者に下肢リンパ管細静脈吻合手術を行った1例

【論文】

(原著論文)

- 1 Okano J*, ..., Suzuki Y, Kojima H.
A novel role for bone marrow-derived cells to recover damaged keratinocytes from radiation-induced injury. (査読有り)
Sci Rep. 2021 Mar 11;11(1):5653.
- 2 Katagi M, ..., Suzuki Y, ..., Kojima H*.
Malfunctioning CD106-positive, short-term hematopoietic stem cells trigger diabetic neuropathy in mice by cell fusion.
Communications Biol. 2021 May 14;4(1):575 (査読有り)
- 3 荒川篤宏、鈴木義久、…、荻野秀一
ペット咬創への初期治療と機能・整容の改善動物咬傷の初期治療と感染予防
形成外科 64(2) 138-142 2021 年 2 月 (査読有り)

(症例報告)

- 1 武田孝輔、…、貴島顕二
眼球回旋偏位を特徴とする下斜筋麻痺を伴う眼窩底骨折の 1 例
日本形成外科学会会誌 41: 214-221, 2021.4 月 (査読有り)

【研究】

- 1 中枢末梢神経軸索再生における瘢痕の抑制
(学術研究助成基金助成金 2018 年度 基盤研究 C) (石川奈美子、鈴木義久)
- 2 人工リンパ節からのリンパ管新生についての検討 脂肪由来間質細胞付加の効果について
(学術研究助成基金助成金 2018 年度 若手研究) (武田孝輔)
- 3 ヒト幹細胞臨床研究骨髓由来単核球細胞を用いた脊髄損傷 (ASIA 機能障害尺度 A, B) に対する第 II 相試験
(鈴木義久)
- 4 アルギン酸を使用した再生医療技術のための新規 scaffold の開発
(鈴木義久、石川奈美子、平井達也)
- 5 磁場による神経血管再生
(石川奈美子)
- 6 四肢リンパ浮腫患者のリンパ管の再生
(石川奈美子)
- 7 磁場を用い瘢痕を制御する神経再生のメカニズムの解明
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C) (石川奈美子)